

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

<p>実践年度・タイトル</p>		<p>令和(3)年度 ロイロノートを用いた生徒の思考整理の支援</p>
<p>授業について</p>	<p>教科名等</p>	<p>■国語 □社会 □算数/数学 □理科 □生活 □音楽 □図画工作/美術 □家庭/技術・家庭 □体育/保健体育 □特別の教科 道徳 □外国語/外国語活動 □総合的な学習の時間 □特別活動 □自立活動 □各教科等を合わせた指導 □その他の教科 □その他(生活・身辺自立・行動の切り替え)</p>
	<p>単元・題材名</p>	<p>文章の内容を整理しよう</p>
	<p>授業の目標</p>	<p>・文章から必要な情報を取り出し、図や表で整理することができる ・自分で操作して作成した図や表を参考に、文章の内容を文でまとめることができる</p>
	<p>学力の3要素</p>	<p>■「知識及び技能」 ■「思考力・判断力・表現力等」 □「主体的に学習に取り組む態度」</p>
<p>学習集団と子供の実態</p>	<p>学校・学部・学年・人数</p>	<p>□通常の学級 □通級による指導 □特別支援学級 ■特別支援学校 □就学前 □小学生 □中学生 ■高校生以降 □特定されない (高等部2)年 (1)人</p>
	<p>対象の障害</p>	<p>□視覚障害 ■聴覚障害 ■知的障害 □肢体不自由 □病弱・身体虚弱 □言語障害 ■自閉症 □情緒障害 □LD(学習障害) □ADHD(注意欠陥/多動性障害) □その他</p>
	<p>子供の困難さ</p>	<p>□見ること □聞くこと □話すこと ■読むこと ■書くこと □動くこと □コミュニケーションをすること ■気持ちを表現すること ■落ち着くこと・集中すること □概念(時間、大きさ等)を理解すること □学習(計算、推論等)すること □その他 文章の読み取りでは、本文に対する一つ一つの設問に対しては答えることができるが、一問一答で終わってしまい、文と文との関係や本文全体の内容理解に困難さがある。また、本文の内容から考えるのではなく、自分の考えで答えてしまうことがある。自己肯定感が低いため、自分の考えをはっきり示すことに苦手意識があり、相手の表情で判断してしまうことも多い。</p>
<p>支援機器等教材の活用について</p>	<p>活用の意図</p>	<p>Aコミュニケーション支援(□A1意思伝達支援 □A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(□B1情報入手支援 □B2機器操作支援 □B3時間支援) C学習支援(■C1教科学習支援 □C2認知発達支援 □C3社会生活支援) D実態把握支援(□D1実態把握支援) ・言葉や文章で自分の考えを表現することが難しい生徒への表出支援、思考の可視化(理解度の把握) ・生徒の思考の整理 ・本文に立ち返って考えるということを操作的に理解する</p>
	<p>使用した支援機器等教材の名称と画像</p>	<p>・iPad(ロイロノート) ・テレビ</p>
<p>授業展開</p>	<p>授業展開・支援の手立て</p>	<div data-bbox="542 1377 1380 1523"> </div> <p style="text-align: center;">ロイロノート画面</p> <p>①文章に書かれている内容を順を追って整理する ・本文を話の展開ごとに分け、文とイラストをつけたカードを用意する。文の内容に合わせて生徒がイラストを操作することで、視覚的に状況を捉えやすくする。 ②文章に書かれている内容を表にまとめる ・本文に書かれた内容を整理できるよう表を用意し、表の分類を参考に本文から必要な情報を抜き出して整理する。 ・本文とは関係なく自分の考えで回答しようとした場合は、「本文には何と書いてある?」と文章に立ち返れるような言葉かけをする。 ・作業的に穴埋めをすることにならないように答えの理由がどこに書いてあるのかを本文で確認する。 ③読み取った内容を文でまとめる ・自分で操作して作成した資料をもとに文でまとめる。 ・最初から文章を書くのが難しい場合は文の型を提示し、それを参考に考えることができるようにする。 ・日常生活などの場面に置き換えて、自分がまとめた文章を参考に答えられるような質問をして理解度を確認する。(例: かいもの食べるのが苦手で、やわらかいものを食べたい人にはどちらが良い?)</p>
<p>効果・評価</p>	<p>子供の様子や変容および授業の評価</p>	<p>・教師の表情等で判断するのではなく、自分が整理した資料をもとに考えることができていた。 ・本文から直接言葉を抜いて整理することで、本文に立ち返って考えるということを操作的に理解できた。 ・これまで生徒の思考(理解度)を知るために動作化することは有効な手立てだったが、記録が残らないことが難点だった。その点、ロイロノートを活用した方法であれば記録を残すことができ、振り返りにも活用できると感じた。 ・入力、修正が筆記よりも手軽にできるため、間違えること・修正することに対する抵抗感が軽減した。 ・その場で一緒に思考を整理する、共有するという点ではロイロノートは有効だが、細かいサイズの調整などは不向きだった。</p>